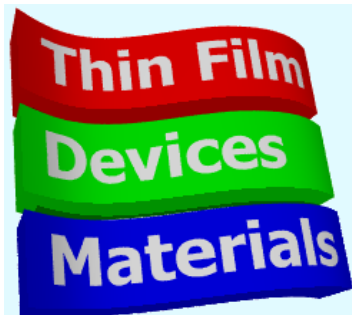




薄膜材料デバイス研究会 第22回研究集会

GXを支える薄膜技術

2025年10月23日(木) ~ 10月24日(金)

本研究会の目的は、薄膜半導体・絶縁体・電極材料・それらの物理・エンジニアリングについて、分野間の垣根をとりはらい広く議論する場を創生することにあります。第一線の研究者・技術者間の情報交換と議論の場を設けることによって、幅広い知識と理解を共有することができると期待しています。

昨今の気候変動問題に対して脱炭素社会の実現に向けたGX（グリーントランスフォーメーション）の機運が高まっています。電気自動車にはパワー半導体や各種センサを含む多数の半導体デバイスが搭載され、エネルギー源としては太陽光発電などのクリーンエネルギーの利用が求められており、将来社会において薄膜技術が果たす役割は益々拡大していきます。第22回研究集会では、「GXを支える薄膜技術」をテーマとして、省エネ半導体、太陽電池、熱電・蓄電デバイスなど多岐にわたる内容を分野横断的に議論します。

一般講演は、本テーマに限らず**薄膜材料・プロセス・デバイスに関するすべての話題を対象**とします。
積極的な論文投稿・ご参加をお待ちしております（**ポスター講演も募集いたします**）。

開催日：2025年10月23日(木) ~ 10月24日(金)

開催方法：現地開催（京都市 龍谷大学 成就館）

アブストラクト投稿締切：8月29日(金)

参加費：早期申込 一般 ¥10,000 / 学生 ¥4,000（当日申込 一般 ¥15,000 / 学生 ¥6,000）

参加申込：研究会ホームページ（<http://www.tfmd.jp/>）に掲載します。

問合せ先：薄膜材料デバイス研究会事務局（代表: 春田 正和）

近畿大学 産業理工学部（福岡キャンパス） 〒820-8555 福岡県飯塚市柏の森11-6

Tel: 0948-22-5659 (ext.261) E-mail: haruta(at)fuk.kindai.ac.jp (at)を@に変換ください。

ランブセッション特別招待講演（敬称略）

・小長井 誠（東京都市大学）

「創造性と挑戦: 太陽電池研究者としての生涯とその意義」

招待講演（敬称略）

・安達 千波矢（九州大学）

「分子間CT相互作用に基づく有機薄膜熱電デバイス」

・松下 祥子（東京科学大学）

「半導体薄膜の熱励起電荷による酸化還元反応：半導体増感型熱利用発電」

・葛西 誠也（北海道大学）

「生物粘菌ダイナミクスの電子的模倣と計算能力創発（仮）」

・苅谷 健司（住友林業）

「木造人工衛星の開発と宇宙木材プロジェクト」

・藤原 康文（立命館大学）

「次世代マイクロLEDディスプレイに資するEu添加GaN赤色LEDの新展開」

・三笠 典章（マイクロンメモリジャパン）

「Semiconductor & DRAM device technology」

・日掛凱斗（東京大学）

「大学実証実験での歩留まり改善に向けた取り組みー1k 酸化物半導体トランジスタの高信頼動作実証（仮）」

主催 薄膜材料デバイス研究会組織委員会

協賛（予定も含む） 応用物理学会／日本太陽光発電学会／

AM-FPD／IEEE EDSK／IDW AMD

チュートリアル（敬称略）

・入山 恭寿（名古屋大学）

「全固体電池の高性能化に向けた蓄電固体界面科学」

・葛原 正明（関西学院大学）

「タイトル未定：高周波パワーデバイス」

本研究集会の特徴

- ・材料を問わず、薄膜デバイスに関する全てを議論
- ・最長4ページの充実した情報量を有する予稿集
- ・本年のタイトルに即したチュートリアル
- ・口頭発表者の講演内容もポスター提示される。
- ・参加者投票によるベストペーパーアワード
- ・参加者投票によるスチューデントアワード
- ・学生が参加しやすい参加費

実行委員長 春田 正和（近畿大）

組織委員

市川和典（松江高専）	太田 裕道（北大）
浦岡 行治（奈良先端大）	井手 啓介（東京科学大）
河西 秀典（龍谷大）	大平 圭介（北陸先端大）
川原村 敏幸（高知工科大）	神谷 利夫（東京科学大）
木村 睦（龍谷大）	北村 雅季（神戸大）
酒井 正俊（千葉大）	黒木 伸一郎（広島大）
高橋 崇典（奈良先端大）	清水 耕作（日本大）
富永 依里子（広島大）	都甲 薫（筑波大）
中村 雅一（奈良先端大）	永瀬 隆（大阪公立大）
番 貴彦（滋賀県立大）	野々口 斐之（京都工繊大）
古田 守（高知工科大）	東 清一郎（広島大）
山本 伸一（龍谷大）	曲 勇作（高知工科大）
	葉 文昌（島根大）